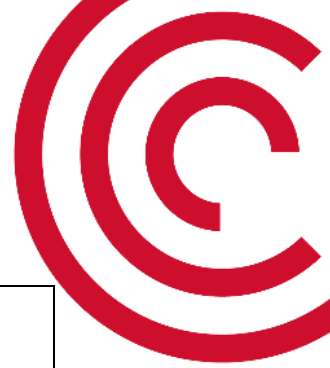




EU・日本ヘルスケア会議「命を救うために団結を」

- ◆ 日時: 2025 年 6 月 26 日 (木) 13:30～17:00 (13:00 開場)
- ◆ 会場: グランドプリンスホテル大阪ベイ 2 階「サファイア」
<https://www.princehotels.co.jp/osakabay/access/>
- ◆ 言語: 英語 / 日本語 (※同時通訳あり)
- ◆ 協力・協賛: 駐日ポーランド共和国大使館、日欧産業協力センター、大阪府
駐日欧州連合代表部、国立研究開発法人日本医療研究開発機構

プログラム

13:30 - 13:45 開会の挨拶

- ポーランド投資・貿易庁、ポーランド開発・技術省代表
- パヴェウ・ミレフスキ駐日ポーランド共和国特命全権大使
- ジャン＝エリック・パケ駐日欧州連合大使 (後日発表)
- 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 代表

13:45 - 14:00 基調講演 1

- 講演者: ピーター・バーク アイルランド企業大臣

テーマ: 医療技術および製薬分野における欧州のイノベーション源としての役割

14:00 - 14:15 基調講演 2

- 講演者: マクシミリアン・シヴィニアルスキ氏 (TZF Polfa S.A. CEO、ポーランド)

テーマ: 重要医薬品へのアクセス確保における欧州の役割

— 戦略的自立性、強靱な供給チェーン、グローバルな協力

14:15 - 15:00 EU と日本の医療分野における協力事例・提案

- 講演者: トマシュ・ルトコフスキ博士 (RIKEN AIP 研究員、東京、日本)
テーマ: RIKEN の実績と欧州のパートナーとの協力によって開発されたプロジェクト
- 講演者: アリタ・ドゥブニカ氏 (助教授、博士、リガ工科大学 生体材料工学研究所
自然科学・技術学部)
テーマ: バルト海バイオマテリアルセンター (Baltic Biomaterials Centre of Excellence) における研究と協力の機会
- 講演者: 白髭 克彦教授 (東京大学 定量生命科学研究所・細胞分子生物学研究部門、カロ
リンスカ研究所)
テーマ: 精密医療のためのクロマチンサイエンス革新: 東京大学・カロリンスカ研究所

LINK プログラム

15:00 - 15:15 コーヒーブレイク・ネットワーキング

15:15 - 15:45 ピッチセッション

- EU 諸国の企業および日本の企業によるショートピッチ
(WPD Pharmaceuticals、Biovalley、Biovico、Aerogen)

15:45 - 16:25 パネルディスカッション

テーマ: 医療機器分野と創薬研究における新興技術 — 健康を改善するために、
どのように協力し、どのように競争するか？

- ダニーヤ・ロチャ氏 (リガ工科大学 助教授、一般化学工学研究所、ルドルフス・チムディン
ス・リガ生体材料イノベーション開発センター (RTU ICGE RCRBIDC))
- アルバロ・リオス・ポベダ氏 (エグゼクティブ・ディレクター、KAWATEK)
- アルトゥル・ザチンスキ氏 (ポーランド内閣府 首相官房人道支援・医療支援チーム長、
ポーランド内務省・行政省 神経外科クリニック長)

モデレーター: ゲラルド・リポフスキ氏 (Lipowski Consulting LLC)

16:25 - 16:30 閉会の挨拶

- 大阪府ご代表者

16:30 - 17:00 ネットワーキング (軽食・ドリンク付き、立食形式)